

## 授業方法

オンデマンド、ライブ配信、対面など4つの授業方法があり、科目によって異なります。それぞれの特徴をよく理解しておくことで、自身のライフスタイルに合わせた学修計画を立てやすくなります。

オンライン

対面



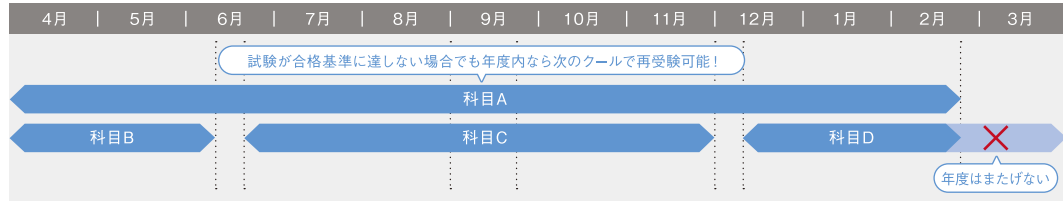
通信授業  
(録画型)

全ての  
クールの  
受講可能

### ☑ 24時間いつでもどこでも何回でも視聴可能！ ☑ 再受験可能！

オンデマンド配信動画で学修。教材(PDF教材・教科書等)も併用して学びます。24時間いつでも、何度でも繰り返して動画視聴・学修することができます。年度内であれば、合格するまで継続学修が可能のため、試験の結果が合格基準に達しない場合でも次のクールで再受験が可能です。

【受講例】



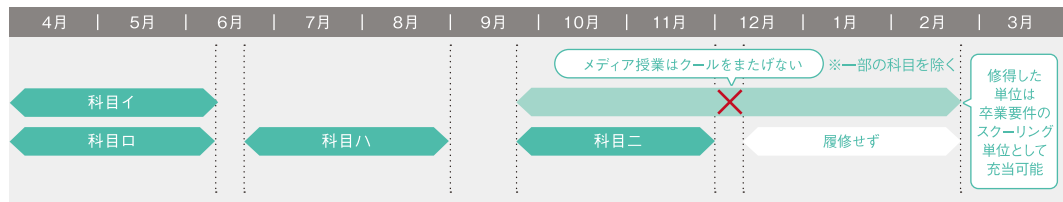
メディア授業  
(録画配信型)

定められた  
クールでのみ  
受講可能

### ☑ クール内でのみ配信！ ☑ 履修登録後は通信授業と同様24時間いつでもどこでも視聴OK!

オンデマンド配信動画で学修。教材(PDF教材・教科書等)も併用して学びます。24時間受講できますが通信授業とは異なり、科目ごとに設定されたクールでのみ受講が可能で、試験も履修登録したクールで受験が必要です。

【受講例】



メディア授業  
(ライブ配信型)

定められた  
日時に受講

### ☑ ライブ配信授業！ ☑ リアルタイムでの発言機会あり！ ※日本語教員養成課程でのみ開講。2025年4月現在

定められた開講日時にライブ配信される授業を自宅を受講できます。単位修得には、全日程の受講(出席)が必要です。リアルタイムで質問でき、発言することもできます。

【受講例】



スクーリング

定められた  
日時に受講

### ☑ 対面で授業が受けられる！ ☑ 学生同士で交流ができる！

教員から直接講義を受ける対面授業。定められた日時にさくら夙川キャンパス(兵庫県西宮市)や全国の各会場を受講します。講義だけでなく、グループワークや外部施設見学なども含まれ、学生同士の交流を図る機会にもなります。

【受講例】



※授業方法を問わず、履修登録した科目を学修期間内に修了できなかった場合、学修履歴を次年度に持ち越すことはできません。次年度も同じ科目の学修を希望する場合は、新たに履修登録が必要です。なお、科目等履修生・聴講生の場合は、所定の手続きが必要なおえ、在籍料および授業料も再度必要です。